

ゴールデン・ウイーク

この随想の掲載日・5月1日はゴールデン・ウイークの真ただ中。後半は3連休もしくは2日、6日を休んで8連休という人もいるかもしれません。鉄道、行楽地も混み高速道路も大渋滞——年末年始、お盆と同じような状況が繰り返される。

現在、私は地元市が主催する高齢者向けの英会話の講師を務めていますが、先週のクラスではこの「ゴールデン・ウイーク」をトピックに英語表現を勉強しました。



まずは、”Golden Week”は和製英語であることを確認。昔は天皇誕生日、憲法記念日それに子供の日——これに土日が組み合わさるこの期間を「飛び石連休」と呼んでいました。ところが昭和天皇が亡くなると天皇誕生日は1988年から「グリーンデー」となった。平成天皇の誕生日をお祝いする日は今度は12月23日へ。さらに2007年に4月29日は「昭和の日」となり、「グリーンデー」は5月4日に移動。この結果、3日から5日は必ず3連休となったわけです。ワーカーホリックと世界から揶揄されていた日本人にしては、ずいぶん思い切った調整です！ということで新緑が目にしみ、風薫るこの時期は行楽のベストシーズンとなったというわけです。

講座の受講生からは、郷里の実家を訪れる、京都に行く、熱海へ・・・といったこの間の予定が英語で発表されました。ちなみに、これらの祝日の英語訳は——

天皇誕生日：The Emperor's Birthday

グリーンデー：Green Day

昭和の日：Showa Day

憲法記念日：Constitution Memorial Day

子供の日：Children's Day または Boy's Day or Boy's Festival

ついでに、冒頭で述べた年末年始とお盆休みを含めた言葉の一つに：

The busiest holiday seasons in Japan are Golden week, New Year and Obon week.があります。

ところで「シルバー・ウイーク」については“Respect for Aged Day (敬老の日), Autumn Equinox (秋分の日) に土日がくっついたものとして取り上げています。

もう40年近く前、特派員としてパナマに赴任した際、現地では土日は休みで有給休暇も1カ月あるのには驚いたものです。当時、日本では土曜日はよくて半ドン、中小企業では就業日が一般的だったからです。経済的に日本より遅れていた国の市民の生活は、日本よりゆったりとしていることに羨ましささえ感じたものでした。

現在では我が国もずいぶんと休日が増え、公務員や大企業に働く人は楽になりましたが、中小企業や日給で働く人は逆に経済的に苦しくなるケースも出てきています。さらに、世界の中での日本の経済力の低下を見ると、“こんなに休んでばかりいてよいのかなあ？”なんて思いもふっと湧いてくる。

いやいや、「経済の発展や文明の進歩は必ずしも人間に幸せをもたらしてはくれない」との自論に戻り、休みの多い現在の状況に感謝していくべきなのかも・・・正義を目指し見果てぬ夢を追う東京のドン・キホーテは、こんな思いを抱きながらゴールデン・ウイークを過ごしている次第です。

